作成日　2019年9月25日(水)
作成者　進藤　早苗
対象：　5歳児

バトンをつなごう

保育のねらい：バトンを繋ぐ大切さに気付き友達と競争することを楽しむ。

保育の振り返り

「リレーってなーんだ？」から始め「知ってる！走るやつ」と反応が返ってきたのでまずは「走ってみよう！」と園庭に出てやってみました。バトンを渡すではなく、ポイっと投げてしまうこともありました・・。各クラスで順番を決めたり、どのようにしたらバトンを最後まで繋げるか？を何回も話し合いました。子どもたちから、「ハイって言って渡したらいいよ。」「〇〇ちゃんって名前を呼ぼう」等、上手くバトンを繋ぐためのヒントがでてきました。そして何回も走って見て、順番を変えたり、勝つための作戦もたててきました。(言葉による伝えあい、思考力の芽生え、自立心、健康な心と体)　リレーは、勝つこともあれば負けることもあります。勝ったチームへの拍手をすることも大切なことです。子どもたちの表情を見ていると本当は拍手なんかしたくないけど、自分のチームが勝ちたかったのにという表情をしている子もいました。負けた時の振る舞いや、勝ったチームも負けたチームへの頑張りの拍手や振る舞い方もその都度伝えていきました。

勝つことも負けることも経験できたからこそ、友達の頑張りを認めていけるのだと思います。運動会当日、転んでしまったり涙を見せることもあると思いますが、６３名でバトンをアンカーまで繋ぎますので、応援と暖かい拍手をよろしくお願い致します。